

## 2014年4月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

2014年 5月27日  
在ドミニカ共和国日本国大使館

### 1. 内政

#### (1) 新身分証の発給

21日、中央選挙委員会は、不正防止措置を施した新しい身分証並びに選挙人証の発給を国民凡そ700万人に対して始めた。

#### (2) 世論調査

ア. CID-Latinoamericana 両社が合同で行った世論調査によると、メディーナ大統領を国民の94%が評価、また政権運営については76%が評価すると回答し、メディーナ大統領に対する評価が依然として大変高い事が確認された(往電第311号)。

イ. 3日、メキシコの Consulta Mitofsky 社が本年2月に行った欧米、アジア大洋州30ヶ国の首相・大統領に対する世論調査によると、メディーナ大統領は90%の評価を得て30ヶ国の中で最も評価が高い大統領であったと報じた。

#### (3) エネルギー・鉱山大臣の任命等

24日、メディーナ大統領は、大統領令141-14を発出し下院議員のペレグリン・カスティージョ氏を昨年7月創設して以来空席となっていたエネルギー・鉱山省の大臣に任命した。また、大統領令139-14によって、ロドリゲス農務大臣が辞任したことからアンヘル・エステベス農業銀行総裁を新農務大臣に任命した。

#### (4) 住宅建設

23日、メディーナ大統領は、エンリキージョ湖が増水し拡大していることで転居を余儀なくされた家族のために建設された居住区ボカ・デ・カチヨンの開所式に出席した。居住区には、546家屋が建設され、消防署、病院等も設けられている。総工費2,400万米ドル。

#### (5) 教育協定

1日、メディーナ大統領は、教員の技能向上、教育課程終了の徹底、教育の近代化を謳った2030年までの国家教育改善協定を200以上の関係機関と締結した。メディーナ大統領は、教育システムを変えるには、システムの根幹を変えなければならないと述べ、そのために今後数ヶ月以内に23億ペソをかけて5,000名以上の教員が各々の専門領域を磨くための大学院プログラムを始めると発表した。

#### (6) 図書展

4月24日～5月5日かけて、第17回国際図書展が文化広場(Plaza de la Cultura)で開かれた。世界16カ国から77名が招待された。今回はパナマが招待国であり、図書展終了後にパナマから600冊が当国図書館へ寄贈された。

#### (7) 治安関係

ア. 12日、当国麻薬取締局は、米国麻薬取締局協力の下、キュラソー出身者とドミニカ(共)人を逮捕したと発表した。首都を走っていた車両の中から拳銃1丁、数台の

携帯電話、約16万米ドルが押収された。

イ. 13日、検事局は、マリア・トリニダード・サンチェス県（北東部沿岸）のカブレラ市において幼児を外国人へ売買していた犯罪組織網を解体したと発表した。逮捕された数名の内には、イタリア国籍の夫婦もあり、彼らは4ヶ月の幼児を連れて出国するところであった。1万ユーロで売買していたとのこと。捜査関係者によると、犯罪組織は幼児売買に関心を持つ外国人との仲介を行い、時には、関心を持つ外国人が当国へ来訪し、出生したばかりの幼児を自身の子供であると偽って出生届けを提出していたとのこと。

ウ. 14日、麻薬取締局(DNCD)は、カウセド港並びにハイナ港においてペルーとコロンビアから到着した3つのコンテナから合計482キロのコカインを押収し、3名を逮捕したと発表した。

エ. 21日、麻薬取締局(DNCD)は、カウセド港においてペルーから到着したコンテナ船から178袋、ラスアメリカス空港においてサンマルティン島から到着した飛行機のスーツケース2個から34袋のコカイン、及びヘロインを押収した。また、同日夜、バラオナ（南西部）沖で米国沿岸警備隊が、航行中のスピードボートから600キロ相当のコカインを押収し、コロンビア人とドミニカ（共）人を逮捕した。この作戦には、米国、コロンビア、ドミニカ（共）の麻薬取締局が協力した。

オ. 26日、麻薬取締局は、麻薬取引2件を摘発し合計12万4,500米ドルを押収したと発表した。1件目は、サントドミンゴ市内において麻薬取引を行うため駐車していた車両から6万2,000米ドル、携帯電話6台を押収、関係者を逮捕。2件目は、東サントドミンゴ市内のマンションから100米ドル紙幣で小分けされた6万2,500米ドルを押収し、住人の女性を麻薬取引とマネーロンダリング容疑で逮捕。逮捕された女性は、米国において麻薬取引で逮捕収監されていた人物の母親であった（往電第339号）。

カ. 26日、北サントドミンゴ市において服飾店を営んでいた中国人経営者が、二人組の若者に刃物で刺されて死亡、経営者の妻と来店中の中国人が怪我をした。犯人は逃走中（往電第336号）。

キ. 26日、北サントドミンゴ市において33歳の女性が自宅前で何者かに車両から射殺された。

ク. 27日、道路の路肩で車両のタイヤを交換していた75歳のテノール歌手が、見知らぬ男から拳銃を突きつけられ指輪を奪われた。目撃者によると、加害者は警察の格好をしていたとのこと。

ケ. 28日、インターポール・ドミニカ（共）支局は、南米から麻薬密輸を行うイタリアマフィア「カラブレサ」の首領を逮捕したと発表した。イタリア国内で禁固15年の判決を受けていたが国外逃亡したことから、イタリア当局から最も危険な国外逃亡犯として国際手配されていた（往電第349号）。

#### （8）チクングニア熱

ア. 4日、厚生省は、サン・クリストバル県ニグア市内でチクングニア熱ウィルス感染者を確認し、当国で初めて同ウィルス感染者が出たと発表した（往電第271号）。

イ. 22日、Robert Reid Cabral 小児病院（首都サントドミンゴ）に勤務する医師、看護師、検査技師の17名からチクングニア熱ウィルスが検出され、疾病管理センターが同病院の立ち入り検査を行った。

ウ. 27日、イダルゴ厚生大臣は、サン・クリストバル県だけでチクングニア熱に感染していると思われる患者が3,690名存在し、アト・マジョール県、サントドミンゴ県、首都圏においても確認されていると発表した。

## 2. 外交

### (1) SICA 外相会合

23日、ラ・ロマーナ市のカサ・デ・カンポにおいて、当国が SICA 議長国になってから2回目の SICA 外相会合が開催され、マルティネス SICA 事務局長、モラレス外相を含む SICA 加盟 8ヶ国の外相に加え、特別招待国としてミード・メキシコ外相が出席した。会合では、当国の台湾・中米経済開発基金への正式加盟が承認された他、モロッコが SICA 域外オブザーバーとして認められた。

### (2) カリブ諸国連合首脳会合

29日から30日にかけて、メディーナ大統領は、第6回カリブ諸国連合首脳会合に出席するためメキシコを訪問し、加盟国に対してハリケーン等の自然災害に効果的に対応するための対話を行う国際会議 HOPEFOR への参加を呼びかけた。

### (3) 台湾の援助

ア. 7日、Ping-Fu 台湾大使は、緊急電話網 911 プロジェクトに使用される 390 台の警察バイクを無償援助として内務警察省へ供与した。台湾は、当プロジェクトに合計 960 台のバイクを供与する予定である。

イ. 11日、Ping-Fu 台湾大使は、緊急電話網 911 プロジェクトに使用される緊急バイク 90 台を無償援助として厚生省へ供与した。Ping-Fu 大使は、追加で救急車 90 台も寄贈する予定であると述べた。

### (4) イタリア大使館の閉鎖

当地イタリア大使館広報担当官は、イタリア政府の財政支出見直しの方針に従い、ホンジュラス、アイスランド、モーリタニア、ドミニカ共和国の大使館が閉鎖される事になったと当地メディアに述べた。在ドミニカ共和国イタリア大使館は、本年12月31日をもって閉鎖される予定。

## 3. 経済

### (1) 国内の経済活動

29日、エルナンデス労働大臣は、「職場における安全で健康な化学薬品の使用に関する会議」に出席した折り、2014年第1四半期にサービス業、観光業、鉱業を中心に約2万4,000名の新規雇用が生まれたと述べた。

### (2) 外債発行

24日、政府は、ニューヨーク市場で新発国債 30年物を 12億5,000万米ドル相当発行した。利回りは 7.45%、応札倍率は 2.4倍であった。政府は、当国国債の格付けが B であるにもかかわらず、利回りが低く抑えられたことは投資家が当国経済を信用している証左であるとした。

### (3) ダイエーの訪問

16日から19日まで、ダイエー、Vient、船商、千葉富里の各々の会社代表が当国を訪問し、政府関係機関、農作物生産者、小売業者等との会談を行った。

#### (4) 鉱業

21日、行政最高裁判所第2法廷は、ロマ・ミランダを鉱山開発から守るために保護区とするように訴えたNGOの主張を認め、環境資源省並びにファルコンブリッジ社から保護区申請を認めるべきでないとの訴えを却下した。

#### (5) 自動車

7日、フェルナンデス自動車販売協会(ACOFAVE)会長は、2013年の輸入新車・中古車販売は2005年と比較すると36%減少した旨述べ、販売減少の要因はこの期間に行われた税制改革に拠るとした。現在、政府は輸入車両価格の63%、貿易協定締結国からの輸入車には51%を課税していると述べた。また、現在市場に出回っている車両の71.4%は、製造から10年以上を経過した古い車両が多いことから、輸入制度の見直しを求めた。

#### (6) フリーゾーン

ア. 2日、メディーナ大統領は、タンボリル(北部)のフリーゾーンに建設された製靴工場Sun Jade International社の開所式に出席した。開所式には、親会社である台湾のHongFuグループのT.Y.Chang社長、Ping-Fu台湾大使、フェルナンデス国家フリーゾーン審議会議長等も出席した。1万1,500名の雇用を創出し、年間2,000万足製造する。初期投資は、3,500万米ドル。

イ. 11日、メディーナ大統領は、カナダ資本縫製業のGilden Activewear社新工場開所式に出席するためサンペドロ・デ・マコリスのフリーゾーンパークを訪問した。新工場開設により新たに2,000名の新規雇用が創出されるとのこと。投資総額は、1,250万米ドル。

#### (7) コーヒーさび病

ドミニカ(共)珈琲委員会のフェルミン委員長は、全国の珈琲の木の半数以上がさび病被害を受けていることから今年の収穫は、920トンに満たないであろうと述べた。委員会では、これまで1,000以上の珈琲農園の苗木をさび病に強い苗木に植え替えたが、全国の珈琲の木を植え替えるには、2,300万米ドル相当必要であると訴えた。

#### (8) 国際関係

ア. 21日-24日、韓国から8名の訪問団がknowledge Sharing Programのフォローアップの一環で当国を訪問した。このプログラムには、当国の住宅銀行を輸出銀行へ組織変更するための技術支援も含まれている。Oh訪問団長は、ロドリゲスCEI-RD(ドミニカ輸出投資センター)長官を表敬訪問し、進捗状況の確認を行った。

イ. 21日、中国のタバコ・カカオ専門家9名が、当国を訪問しタバコ・カカオの製造工場を見学し、その技術の高さを確認した。

#### (9) 国際機関

ア. 8日、IMFは、世界経済見通しを発表し、当国の2014年国内総生産は4.5%成長、2015年は微減の4.1%成長すると予測した。

イ. 8日、Vaagt国連食糧農業機関(FAO)当地代表は、9日からモンテ・プラタ県(東部)にある教育施設46校の内23校をパイロット校としてブラジル政府の技術協力の下、学校給食プログラムを始めると発表した。

ウ. 9日、世銀は世界開発指標を発表した。右によると、当国の2012年の貧困率は40.9%となり、2011年の40.4%から微増した。都市部の貧困率は36.8%

地方の貧困率は49.4%となった。また、世界223ヶ国における電力送配電にかかる損失調査結果では、当国の損失割合は30%となり、ボツワナ(56%)、ハイチ(55%)、コンゴ(46%)、イラク(35%)、ネパール(34%)に続いて高い損失割合となった。

エ. 29日、FAOは、中米・ドミニカ共和国におけるコーヒーさび病被害に対する中期の対策プロジェクトを開始した。50万米ドルの予算で、さび病に強い珈琲の木への植え替え、さび病早期警告システムの導入、病害虫の管理等を行う予定。

#### (10) 航空

15日、Seaborne Airlinesは、新たにプエルトリコのサンファンとサントドミンゴを結ぶ路線に新規就航をした。これにより、Seaborne Airlinesは、サンファンとドミニカ共和国の4都市(サントドミンゴ、ラ・ロマーナ、プンタ・カナ、サンティアゴ)を結ぶことになる。

#### (11) その他

24日、サダラ・クーリ氏が、(ADOEXPO)総会で新会長に選出された。任期は2014-2016年。第1副会長はRoig Cacao社のRoig氏、第2副会長はCervecería Nacional Dominicana社のLeón氏、第3副会長はIndustrias Nacionales社のVega氏がそれぞれ選出された。

#### (別添1) 経済指標

#### (別添2) 疾病発生状況

(了)